

～ 環境に優しい土幌町を目指して ～

令和4年11月24日～令和5年1月20日にかけて、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため書面にて、令和4年度LAS-E外部監査が行われました。以降に監査報告書全文を掲載します。

令和5年3月20日

土幌町長 高木 康弘 殿

土幌町環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員 東村 達夫

副主任監査員 貝守 良光

副主任監査員 小澤はる奈

環境監査報告書

LAS-E実施項目の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査日程

令和4年11月24日（木）～令和5年1月20日（金）

2. 監査対象

本庁舎：10 実行部門、外部施設：5 実行部門、教育施設：5 実行部門

計 20 実行部門

および環境政策推進本部長、事務局

3. LAS-E 監査内容

【重点項目監査】

- 1 役場全体および各課のマネジメント
- 2 役場全体および各課のアクション
 - ① 仕事の改善による省エネ・省資源
 - ② 地域環境保全・本来業務での取り組み（SDGs への認識）
 - ③ 独自の取り組み
- 3 ガバナンス（コミュニケーション・協働）

参考：LAS-E共通実施項目

第1 ステージ

1-1～1-30（1-12、1-23、1-30 を除く）計 27 項目相当

第2 ステージ

2-1～2-6、2-8～2-10、2-12、2-14～2-17、2-21、2-22、2-25～2-30

計 21 項目相当

4. 総合所見

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現場監査に代えて書面監査を実施しました。実行責任者が監査チェックリストへの回答と目視セルフチェックを行い、その書面をもって監査チームメンバーが評価する形式で監査を実施しました。

その結果と評価は以下の通りです。

取り組み状況については、運用の手引きに記載された取り組みが概ね着実に実践されていることが確認できました。

要改善（△）と評価したのは、個人アンケート結果に対する実行責任者の評価についての設問で、1 か所でした（※）。個人アンケートにおいて認識や理解が不足している項目があると認識しているが、改善策が明記されていなかったためです。個人アンケートは、監査員が現場を訪れることで環境への意識を再認識してもらうという以前の監査手法に代えて、職員一人ひとりが自らの認識や行動を振り返るものですが、実行責任者にとっては所属職員の認識が薄い、あるいは行動に結びついていない項目を確認し、部署・施設内でのマネジメントの改善に繋げる材料となるものです。目視チェックの結果も同様です。各実行責任者は、これらの結果を所属職員への周知・指導に役立ててください。

優良取組（◎）として選定された事例はありませんでしたが、「マイ SDGs 宣言」に基づき所属全体で取り組むものを尋ねた設問への回答では、

- ・コミュニティ・スクールの一環として、環境に関わる活動・取組を行う（教育課）
- ・専門家と連携した研修で実践例の紹介を通して、スキルを磨く（こども発達相談センター）
- ・住民に救命講習の受講や避難訓練を働きかけ、徹底したコロナ対策のもと安全に実施していく（消防課）
- ・町民に対して、広報を介して医療、健康の情報を発信する（国民健康保険病院）

など、所管する業務の中で SDGs を意識した動き方をしている部署が見られました。テーマや手法は異なっても、町民への情報発信や所属職員のスキルアップを通して SDGs の達成を目指す動き方は各部署で可能であると思います。さらに、別の地域（社会）課題との関わりを意識した統合的な取り組みに発展していくことを期待します。

以下、項目別に詳細を述べます。

1. 役場全体及び各課のマネジメント

昨年度に引き続き、新型コロナへの対応のためエネルギー使用量が増加したという記述が目立ちました。空調使用時にも換気のための窓開けが必要であること、衛生管理のために水道使用量や廃棄物発生量（ペーパータオルなど）が増えていることなど、コロナ禍に伴う環境負荷が増大した状況が長引いています。感染症の拡大が落ち着きを見せ始め、対策が緩和される方向です。今後の長期的な感染症対策・衛生管理の方針が、エネルギーや廃棄物に関する数値目標の設定に反映されるよう、庁内でよく検討し調整を図っていただけると良いと思います。

マイ SDGs 宣言に基づく各課・施設の活動が定着しつつあるようですが、いわゆるエコオフィス活動（執務室・施設のエネルギー・廃棄物削減など）に関する活動目標を設定しているところが少なくありません。SDGs 各ゴールに対する理解を深め、環境・社会・経済の3側面が複合的に向上するような取り組み、住民サービスの向上に繋がる取り組みを再度検討していただきたいと思います。また、マイ SDGs 宣言自体が令和2年度の設定から変更されていないと思われます。毎年度または数年おきに見直しを図り、常に変化する社会情勢にあわせていくことが必要ではないでしょうか。

2. 役場全体及び各課のアクション

各実行部門で実施した目視セルフチェックの回答状況からは、運用の手引きに沿った環境配慮行動が概ね正しく実行されていることが確認できました。

一部の部署では取り組みが不十分との自己評価をした項目も見られました。実行責任者は、職員への周知が不足しているためか、あるいはルールが職場の現状にそぐわないためなのか、不十分と判断した背景を今一度確認してください。後者の場合は、職場環境に応じてルールを柔軟に運用する、運用の手引きの改正す

るなどの対応が必要です。

3. ガバナンス

環境に関する情報公開、参加・協働の促進については、運用の手引きに沿った水準で実施されていました。コロナ禍のため中止している事業が多くありますが、住民参加で実施する事業であるとの認識は引き継がれているようで、今後の回復が期待されます。

町として 2050 年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」をしていますが、これは担当部署の事業のみで達成できるものではありません。あらゆる部署が様々な場面で脱炭素に向かうための行動・選択をすること、こうした役場の変化を示すことで住民生活や事業活動の中でも変化を起こしてもらうことが必要です。環境に関する情報発信は、今まで以上に強化していかなくてはならないでしょう。この数年で進展した SDGs に関する発信を引き継ぎ、ここに脱炭素の視点を入れて庁内の意識変革、町全体への波及を進めていただきたいと思います。

以上

※監査員 17 名のうち、約 3 分の 1 にあたる 6 名以上が△としたもの

<改善が必要>

チェック項目	質問	監査部署
3 (M)	個人アンケートの実施結果について、感想や所属職員への指導・伝達などにおける今後の課題などをご記入ください。	保健福祉課

5. 監査実施項目評価結果一覧

設問No.	項目	取組内容	実施率 (◎/○)	評価 結果
M マ ネ ジ メ ン ト	(本)	協議と指示	首長による定期的協議、適切な指示	100.0% ○
	(事)	事務局の状況	環境に関する取組の状況と変更点 マネジメント上の変更点・改良点	100.0% ○
	(事)	庁内のコミュニケーション	環境マネージャー会議の開催 推進本部会議の開催、町長指示への対応 基本方針の周知・指導	100.0% ○
	(事)	教育、研修	環境や環境マネジメントシステムに関する教育の実施、理解	100.0% ○
	2	教育、研修	環境や環境マネジメントシステムに関する教育の実施、理解	95.0% ○
	3	目標と実施状況	環境影響の把握 課の業務に応じた環境活動の実施	100.0% ○
	11	地域環境保全・本来業務での取組	SDGsへの認識	100.0% ○
A ア ク シ ョ ン	(事)	施設・設備の改善による省エネ・省資源	公共施設における再生可能エネルギー等の導入 施設の新設・更新時における環境配慮設備の検討	100.0% ○
	(事)	地域環境保全事業・予算	施策・事業の成果、予算等の把握 環境関連事業の評価	100.0% ○
	(事)	仕事の改善による省エネ・省資源	省エネ・省資源、節水・排水負荷削減、紙の節減、 廃棄物削減、リサイクル、グリーン購入、公用車仕様の 負荷削減、通勤時の負荷削減、施設常駐者・出入り 業者への配慮要請ほか	100.0% ○
	5, 6	環境基本計画に関わる取組	第2期環境基本計画に関わる取組(水環境保全、森 林・農地の保全、生物多様性、廃棄物や有害物質の 排出削減、地域資源の活用、産業育成)	100.0% ○
	7	環境教育・ESD	環境学習・ESDの実践内容、取組方針 保護者や地域住民との関わり	100.0% ○
	4	独自の取組	独自の環境配慮の工夫、実践	100.0% ○
G ガ バ ナ ン ス	(事)	住民等とのコミュニケーション	行政の環境保全に対する施策・取組の公表や公開 公共事業に関わる環境負荷の情報公開 環境に関する意見・苦情への対応	100.0% ○
	8	住民・事業者との協働	住民・事業者主体の環境活動・協働事業の実施、把握	100.0% ○
	9	住民・事業者との協働	住民・事業者の提案による環境活動・協働事業の実施、把握	100.0% ○
	10	住民・事業者との協働	ユースの提案による環境活動・協働事業の実施、把握	100.0% ○

(本) : 推進本部に対する監査項目

(事) : 事務局に対する監査項目

実施率: 監査項目の評価が◎または○の個数の割合が80%以上なら○、60%以上80%未満なら△、60%未満なら×と評価

6. 部署ごとの所見

監査対象	所見
推進本部長 (町長)	- 町の環境問題について把握し、適切に指示を出していると思います。 - ゼロカーボン推進の取り組みが重点的になされており、理事者が積極的に参加されていることが分かりました。 2050年温室効果ガスの排出ゼロに向けて積極的に電気自動車、蓄電池、太陽光、省エネルギー機器の導入していくことが必要です。 - 土幌町の温室効果ガスの排出量と森林等による吸収や再生可能エネルギーによる削減など数字等やイラストなどでわかりやすくお知らせをして、町民一人ひとりと行政がどのような活動、協力をすればよいか周知することが必要だと思います。
総務企画課	- 庁舎内外問わず、積極的に取り組みがされており、課全体としての意識の高さがある一方、コロナ禍の影響により、各種取り組みに苦慮していることがうかがえました。 - ごみに関しては意識の高い状況を継続して行動し、エネルギー（電気）に関しては今後さらに意識を高めていただきたいと思います。 - 町のイベントにて町民とともに環境に関する事業や広報を行っています。引き続き地域住民と協同で環境整備に努めていただきたいと思います。
町民課	- 町民との直接的なやりとりが多い部署であるため、積極的に呼びかけや施策を行っています。 - 業務状況の確認を毎週行うなど、課内全体で取り組んでいることがうかがえました。 - 生ごみ乾燥処理機の助成件数が昨年度から3倍となっており、また封筒の再利用等の実施など、取り組みへの努力、成果が見られました。
建設課	- 職員の意識が高く、エネルギー・ごみ記録の目標を全て達成しています。 - 資源の再利用や無駄な排出・使用を防ぐことを職員全員がしっかりと心がけることができています。 - 紙ファイルの再利用を積極的に行い、環境に配慮しています。
産業振興課	- 職員一人ひとりが意識して、概ね目標を達成しています。 - 今後の目標として、職場内の取り組みだけではなく、家庭でも食品ロスの削減を呼びかけようとする運動は素晴らしいと思います。 - 今後は地域住民を取り巻く活動が生まれるよう期待したいです。
保健福祉課	- 新型コロナワクチン業務で発生する廃棄物等の分別に注意し、徹底しています。 - コロナ禍で通常の業務以外の業務が増加している中、目標を達成しています。 - シュレッダーごみ搬出量の目標を「3割減」と具体的にしているところが良いと感じました。 - エネルギー使用値の目標値を課内で確認していただくとともに、地域住民が参画できる活動が生まれるよう期待します。情報共有を行い、意識高い行動を心掛けていただきたいと思います。
出納室	- 業務の性質上、大量の紙を使用する部署だが、工夫しごみの排出を減らしています。 - 普段使い捨ててしまっている付箋紙の再利用は参考にしたいと思いました。 - 事務用品の再利用の徹底がなされており、資源消費削減について評価できます。 - 引き続き、書類廃棄時の再利用に努めていただくとともに、電子化などにより書類枚数が減るような取り組みを期待したいです。
議会事務局	- 職員だけでなく、議員にもL A S - Eの取り組みを推進しているのは素晴らしいです。 - 環境に対する配慮や、SDG sに取り組んでいく姿勢が良いと思います。 - 引き続き、リサイクルの徹底に努めていただきたいと思います。
農業委員会	- 紙の使用が多い部署ではあるが、各種工夫により燃えるごみの排出を抑えています。 - 議案のレイアウトを調整して印刷枚数を減らすなど、環境に配慮した取り組みが実施でき

	ています。 ・ ゴミ・エネルギーに関して未達成項目がないのは素晴らしいです。
子ども課	・ 子どもの遊びや教育活動に廃資源を再利用するなどの取り組みを通じて、子どもたちにSDG s の意識醸成が出来ると考えられます。 ・ 給食の必要数を減らすことで残食を削減しようとする目標が立てられています。食育なども関連させていただくなど、今後の取り組みに期待します。情報共有を行い、意識高い行動を心掛けていただきたいと思います。
教育課	・ 燃料消費を抑えるためタイマー設定を行うなど、エネルギーの効率的使用に対する工夫がされています。情報共有を行うとともに、よい取り組みを継続していただきたいと思います。 ・ 地域の意識向上のため、引き続き子どもの環境学習に力を入れていただきたいと思います。
消防課	・ ゴミ、エネルギー記録において、目標が未達成の部分があるが、原因がはっきりしています。コロナ禍において致し方ないことだと思うので、引き続き環境活動に取り組んで欲しいです。職員の省エネに対する意識が改善されてきたようなので、引き続き声掛けをお願いしたいと思います。 ・ 町民の防災意識向上のため、救命講習や避難訓練を積極的に行っています。 ・ 当直時の自炊者の増加はゴミの削減や健康のためにも良いことだと思います。
国保病院	・ 患者がいるため、他部署と同様に目標を達成することが難しいが、各セクションが連携して目標を達成に向けて工夫しています。 ・ ポスターの掲示等により医師や看護師、外部の人間（患者等）にも周知を図っています。 ・ 独自の削減目標を設定し、掲示方法を工夫しています。環境配慮についての知識や意識の向上に努める姿勢が見られます。 ・ ゴミ・エネルギーの達成、未達成について、現状をしっかりと把握していることうかがえます。院内での周知等で環境について町民へ伝わるよう期待します。
発達センター	・ ペットボトルや段ボールを教材としているのは、子供たちの環境に対する理解を深める点においてとても有効な取り組みです。家庭でもできることなので参考にしたいと思います。 ・ 資源を活用した教育活動やエネルギー削減の指導など、取り組みを子どもたちに根付かせる意識が感じられました。
特養ホーム	・ 高齢者施設として可能な限り環境配慮に努めています。 ・ 周知不足に対しての改善策が示されていることが良かったです。 ・ 建物内に複数の部署が存在しているため、目標値や取り組みの周知等を行うのが困難である中、各部署ごとに LAS-E 担当を置くことは意識向上にとっても良いと思います。
士幌小学校	・ 働き方を見直し、業務の効率化を進めています。 ・ 小学校として、清掃工場見学など環境教育に努めています。清掃工場の見学は、児童も環境について意識する機会が出来ると思うので今後も実施してほしいと思います。 ・ 施設見学等の環境学習に加え、子どもたちに節電・節水やゴミ削減について日常の意識向上を呼び掛けていただくのはいかがでしょうか。行動の習慣化も重要であると思います。
中士幌小学校	・ 学校農園を利用し環境教育と食育を子どもたちに対して積極的に行っています。 ・ 出前授業の実施など、最新の情報を子どもたちが学習できる機会を設けており、引き続き実施できれば良いと思います。 ・ 現状の問題点がよく整理できていますので、今後はそれらを踏まえて実施していければよいと思います。 ・ 職員だけでなく、子どもたちにも環境配慮の大切さを実感してもらうことで、未来に向けて大きな一歩となると思います。
上居辺小学校	・ 学校内のみならず地域住民とともに環境活動を行っています。 ・ 児童が主体的に行う取り組み（予定）があり、児童自身が深く学べる場を提供しています。 ・ 図書スペースに SDG s 関連コーナーの設置は児童の意識向上にとっても良いと思います。

	・ 独自目標を具体的に設定しており、前向きに取り組む姿勢がうかがえました。
中央中学校	・ 教育機関として、拾いごみなど地域に貢献するような環境教育を実施しています。 ・ 削減できるエネルギーがまだあるので、意識高い行動を心掛けていただきたいと思います。 ・ ICT化によるペーパーレス化は効果が上げやすいと思うので、推進していただきたいと思います。
高校	・ 課題がしっかり整理できています。積極的に電子化へ移行しようとしている様子がうかがえました。 ・ 生徒を巻き込んで環境活動を展開するような取り組みを期待します。
給食センター	・ 業務の性質上、大きな対策は難しいが、要所要所で対策が講じられているようです。 ・ 引き続き環境配慮への意識向上、取り組み推進をお願いします。 ・ 給食に関する情報提供・指導などを通じて、子ども課の残食削減目標と関連した独自の取り組みを実施していただけると良いと思います。
事務局	・ 事務局として各課や町全体の動きを適切に把握しており、新型コロナウイルスに対する対策を取りつつ、可能な範囲で環境活動に取り組んでいます。 ・ 環境に関する数値目標の達成状況や土木事業の地図等、積極的に町民に周知しており、町民へ環境について考えてもらうきっかけを創出しています。 ・ 地域住民と共に環境活動を実施できています。引き続き理解向上の取り組みの検討をお願いします。

今年の外部監査では1部署で、改善が必要な項目が指摘されました。しかしながら、コロナ禍の中、どの部署においてもエコオフィス活動はもちろんのこと、それぞれ創意工夫に充ちた取組が実施されておりました。次年度以降も環境を配慮した取組の改善・実施を呼びかけていきたいと思います。

町の環境政策を推し進めるため、公共施設を利用される住民の皆様にも一層のご理解とご協力をお願いいたします